# 安 全 デ ー タ シ ー ト （ S D S ）

## １．化学品及び会社情報

| | |
|---|---|
| 製品名 | 爆ツヤ |
| 会社名 | KeePer技研株式会社 |
| 住所 | 愛知県大府市吉川町４－１７ |
| 担当部門 | 製品部 |
| 電話番号 | 0562-45-5258 |
| FAX番号 | 0562-45-5268 |
| 奨励用途 | 自動車用洗浄剤 |
| 使用上の制限 | 上記用途以外に使用しない |
| 作成日 | 2016年2月17日 |
| 改定日 | 2022年2月1日 |
| 整理番号 | S-2016-2 |
| 改定番号 | |

## ２．危険有害性の要約

**GHS分類**

| 項目 | 区分 |
|---|---|
| エアゾール | － |
| 引火性液体 | － |
| 急性毒性（経口） | － |
| 急性毒性（吸入） | － |
| 皮膚腐食性／刺激性 | 区分3　H316 |
| 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 | － |
| 呼吸器感作性 | － |
| 生殖細胞変異原性 | － |
| 発ガン性 | － |
| 生殖毒性 | － |
| 標的臓器／全身毒性（単回暴露） | － |
| 標的臓器／全身毒性（反覆暴露） | － |
| 誤えん有害性 | － |
| 水生環境有害性　短期（急性） | － |
| 水生環境有害性　長期（慢性） | － |

※区分の記載がないものは、区分に該当しない、又は分類できない。

ＧＨＳラベル要素

| | |
|---|---|
| 絵表示： | なし |
| 注意喚起語： | 警告 |
| 危険有害性情報： | H316　軽度の皮膚刺激 |

注意書き

| | |
|---|---|
| 安全対策： | なし |
| 応急措置： | P332+313 皮膚に刺激が生じた場合、医師の診察/手当を受けること。 |
| 保管： | なし |
| 廃棄： | なし |

## ３.組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：　混合物

| 成分名／化学名 | 含有量(%) | CAS　No. | 化審法No. | 安衛法No. |
|---|---|---|---|---|
| 酸化アルミニウム | 1-5 | 1344-28-1 | (1)-23 | No.189 |
| シリカ(非晶質) | 5-10 | 7631-86-9 | (1)548 | No.312 |
| キレート剤 | 5-10 | 非公開 | 既存 | 非該当 |
| グリコール | 5-10 | 56-81-5 | 既存 | 非該当 |
| アニオン活性剤 | 1-5 | 非公開 | 既存 | 非該当 |
| 水 | - | - | - | - |

| | |
|---|---|
| 労働安全衛生法： | 通知・表示対象物質：酸化アルミニウム、シリカ(非晶質) |
| 労働安全衛生法 有機溶剤中毒予防規則： | 非該当 |
| ＰＲＴＲ法報告物質： | 非該当 |

## ４．応急措置

吸入した場合：　吸入して気分が悪くなった場合は、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分の戻らないときは、医師の診断を受けること。

皮膚に付着した場合：　付着した部位を水と石けんで洗い流すこと。

眼に入った場合：　眼球を流水で数分間洗い流すこと。症状が残るようであるならば医師を受診すること。

飲み込んだ場合：　直ちに水で口の中を洗浄する。
無理に吐かせないこと。
直ちに医師の診断を受けること。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な微候症状：　特になし。

応急措置をする者の保護に必要な注意事項：　特になし。

医師に対する特別な注意事項：　医師の判断および患者の状態に応じた対症療法を施すこと。

## ５．火災時の措置

適切な消火剤：　周囲の状況に即応した消火剤を使用すること。

使ってはならない消火剤：　特になし。通常の火災時の措置。

火災時特有の危険有害性：　特になし。通常の火災時の措置。

特有の消化方法：　特になし。通常の火災時の措置。

消火活動を行うものの特別な保護具及び緊急時措置：　特になし。通常の火災時の措置。

追加情報：　特になし。

## ６．漏出時の措置

人体に対する注意事項,保護具及び緊急時措置：　特になし。

環境に対する注意事項：　地面や土壌、下水、地下水に浸透させないこと。

封じ込め及び浄化の方法及び機材：　吸着物質に（砂、珪藻土、酸吸着物質、その他吸着剤、おがくずなど）に吸着させること汚染された物質は項目13に準拠して廃棄すること。

二次災害の防止策：　特になし。

## ７．取り扱い及び保管上の注意

取り扱い

技術的対策：　正常に取り扱う上において特記すべきことなし。

保管

適切な保管条件：　有機溶剤に耐性があり漏えいしない床であること。
食品と分けて保管すること。
風通しの良いところに保管すること。
推奨保管温度：20 ° C

適切な包装材料：　特になし。

## ８．ばく露防止及び保護措置

| 成分名 | 管理濃度/ppm | 許容濃度/ppm<br>（日本産業衛生学会） | 許容濃度/ppm<br>（ACGIH） |
|---|---|---|---|
| 酸化アルミニウム | — | — | 10mg/m$^3$ |
| シリカ | — | 総粉塵8mg/m$^3$ | 2mg/m$^3$ |

※記載の無いものは、知見なし、あるいはデータなし。

設備対策　換気に留意すること。換気は局所的または全体的にすること。換気が十分に行われないならば、物質の濃度を下限以下に保ち、適切な防護衣を着用すること。

保護具

呼吸用保護具：　通常必要ない。

手の保護具：　通常必要ない。必要に応じてビニール手袋等を着用すること。

眼・顔面の保護具：　通常必要ない。必要に応じて、保護眼鏡(普通眼鏡型)、ゴーグル型、保護面等を着用すること。

皮膚及び身体の保護具：　通常必要ない。

## ９．物理的及び化学的性質

| | |
|---|---|
| 物理状態 | 液体 |
| 色 | 薄水色 |
| 臭い | 微臭 |
| 融点／凝固点 | — |
| 沸点又は初留点及び沸騰範囲 | 100℃以上 |
| 可燃性 | — |
| 爆発限界及び爆発上限界／可燃限界 | — |
| 引火点 | — |
| 自然発火点 | — |
| 分解温度 | — |
| pH | 10-11 |
| 動粘性率 | ＞5,000m/pas |
| 溶解度 | 水に分散(水溶性) |
| n-オクタノール／水分配係数(log値) | — |
| 蒸気圧 | — |
| 密度及び/又は相対密度 | — |
| 相対ガス密度 | — |
| 粒子特性 | — |

※記載なしは知見・データなし

## １０．安定性及び反応性

反応性　危険な反応は報告されていない。

科学的安定性　通常の取り扱いでは安定である。

危険有害反応可能性　特になし

避けるべき条件　特になし

混触危険物質　酸性物質との接触を避けること。（アルカリ性の為）

危険有害な分解生成物　特になし

## １１．有害性情報

製品としての有害性情報　GHS分類と同様。

成分の有害性情報

急性毒性　酸化アルミニウム 経口 LD50 5,000mg/kg（ラット）

シリカ分散液　経口　LD50 >80,000mg/kg(マウス)
シリカとして　経口　LD50　3,160mg/kg(ラット)

アニオン活性剤　経口　LD50 ＞2,000mg/kg(ラット)

皮膚腐食性/刺激性　データなし。

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性　データなし。

呼吸器感作性または皮膚感作性　データなし。

生殖細胞変異原性　データなし。

発がん性　データなし。

生殖毒性　データなし。

特定標的臓器毒性(単回ばく露)　酸化アルミニウム
気道刺激性のおそれがあり区分3に分類した。

特定標的臓器毒性(反復ばく露)　酸化アルミニウム
肺障害のおそれがあり区分１に分類した。酸化アルミニウムの職業暴露の場合。

誤えん有害性　データなし。

## １２．環境影響情報

製品としての環境影響情報　データなし。

成分の環境影響情報

生体毒性　LC50 <100mg/L　魚

残留性・分解性　データなし。

| | |
|---|---|
| 生体蓄積性 | データなし。 |
| 土壌中の移動性 | データなし。 |
| オゾン層への有害性 | データなし。 |

## １３．廃棄上の注意

内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

## １４．輸送上の注意

| | |
|---|---|
| 国連番号 | 非該当 |
| 国連分類 | 非該当 |
| 容器等級 | 非該当 |

国内規制

| | |
|---|---|
| 容器イエローラベル | 非該当 |
| 積載方法 | 非該当 |
| 混載禁止 | 非該当 |
| 輸送の特定の安全対策及び条件 | 容器の破損、漏れがないことを確かめる。<br>荷くずれ防止を確実に行う。<br>該当法令に従い、包装、表示、輸送を行う。<br>直射日光を避ける。<br>水漏れ厳禁、横積み厳禁<br>夏場の輸送時に於いては熱い鉄板、地面等の上に直接置かないこと。<br>輸送容器は衝撃を与えないように、丁寧に取り扱う。転倒させたり、激突させたりしない。 |

## １５．適用法令

| | |
|---|---|
| 火薬類取締法 | 対象外 |
| 高圧ガス保安法 | 対象外 |
| 消防法　()内は指定数量 | 非危険物 |
| 毒物及び劇物取締法（毒劇物取締法） | 対象外 |
| 労働安全衛生法 | 通知対象物質を含有。3.組成、成分情報を参照。 |
| 労働安全衛生法 有機溶剤中毒予防規則 | 非該当 |
| 特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の促進の改善の促進に関する法(PRTR制度) | 非該当 |

## １６．その他の情報

参考文献

・GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法、ラベル、作業場内の　表示及び安全データシート(SDS)　JIS - Z - 7253 : 2019
・化学品の分類及び表示に関する世界調和システム(GHS) 改訂8版（国際連合文書　2019）
・経済産業省　GHS対応　化管法・安衛法におけるラベル表示・SDS提供制度
・厚生労働省　有機溶剤中毒予防規則

※注意

安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取り扱いを確保する為の参考情報として、取り扱う事業者に提供されるものです。取り扱う事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取り扱い等の実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いします。従って本データシートそのものは、安全の保証書ではありません。

# [会社情報]

販売者：(株)スズキ自販滋賀
所在地：滋賀県栗東市六地蔵1172
TEL:077-551-1588